

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 9 月 9 日 (月)

2 確認箇所

構内全般 (T.P. 8.5m盤、T.P. 33.5m盤)

3 確認項目

台風 15 号の影響

4 確認結果の概要

台風 15 号が接近していたことから、構内を巡視しながら大雨や強風の影響を確認した。

- ・一部構内道路が冠水していた箇所があったが、確認した範囲では、排水路等からの溢水や仮設足場等の崩壊及び資材等の飛散は見られなかった。
- ・大熊通り下端※に大型土嚢は設置されておらず、道路への溢水もなかった。(写真 1)

※東京電力は、緊急的な豪雨リスク対策として、300～500 mm程度の降雨が予想される場合には、地形的に降雨が集まると想定される大熊通り下端に大型土嚢を設置し、1～4号機建屋方向への表流水の流入を抑制することになっている。

- ・1～3号機原子炉建屋周囲の600 tクローラークレーンや750 tクローラークレーンは、強風対策として、アンカウエイトを玉掛けし、巻き上げロープを張るなどの措置が講じられていた。また、3号機タービン建屋東側の150 tクローラークレーンは、ブームを地上に伏せる措置が講じられていた。(写真 2)
- ・屋外に仮置きされている資機材は、ロープで固縛する措置が講じられていた。(写真 3)



(写真 1)

大熊通り下端の状況

(東側から撮影)

巻き上げロープ



アンカウエイト

(写真 2-1)

クローラークレーンの強風対策の例
① (1号機原子炉建屋西側の750tクレーン)



(写真 2-2)

クローラークレーンの強風対策の例
② (3号機タービン建屋東側の150tクレーン)



(写真 3)

資機材のロープ固縛の例

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。